

子ども家庭支援センター「たち」交流ひろばについて

1 目的

子育てひろば事業は、子育て支援策の最も基本的で中核的な事業として位置づけられています。ひろば事業を展開することによって、子育てという共通の関心事を持つ親が互いにかかわりを持つことで、子育ての不安や悩みが深刻にならないようサポートをしています。

子ども家庭支援センター「たち」の交流ひろばでは、子育て中の親子が気軽に集い合い子育てに関する情報交換をし仲間づくりをすすめるとともに、子どもへのかかわり方等が心配される保護者には「ひろば」のスタッフから声をかけ、子育て相談につなげるなど育児不安等の解消を図っています。

2 事業実績

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用児数(人)	47,217	55,753	60,081	64,376	66,954
対前年伸率	—	18.1%	7.8%	7.1%	4.0%
利用者数(保護者含)(人)	99,460	117,031	125,928	135,168	140,269
対前年伸率	—	17.7%	7.6%	7.3%	3.8%
新規利用登録児数(人)	5,007	5,626	5,827	6,113	6,151
対前年伸率	—	12.4%	3.6%	4.9%	0.6%

3 事業内容

- (1) 利用日時 年末年始・休館日（年6日）以外の午前10時から午後5時
- (2) 対象者 0歳から就学前の乳幼児がいる家族
- (3) 内容 ①各種お遊びコーナー・赤ちゃん優先スペース・食事スペース
②スポットタイム 週3回
③交流会
④季節・行事企画

4 検討事項

開設10周年を迎え利用者数が年々増加傾向である中、「利用者相互の交流を図り不安を抱える保護者等を相談業務につなげる」という交流ひろばの役割を将来にわたり展開していくための方策。